B. 製造業

① *Reduce　～物を大切に使い、ごみを減らす～*

商品の製造段階で、
ごみを減らしましょう！！

製造業者の皆さんが、商品の製造段階からごみの減量に取り組むことで、社会全体にも大きなごみ減量効果をもたらします。

- 省資源・エネルギーに配慮した製造工程を取り入れましょう。
- 耐久性が高く、修理が容易な製品を製造しましょう。
- 複数で 1 セットの製品の個包装を行わないようにしましょう。
- 製品製造上の副産物・端材等を原材料化しましょう。
- 必要な機材等は、耐久性が高く、修理が容易な製品を選択し、購入しましょう。

② *Reuse　～物を繰り返し使う～*

繰り返し使用できる製品を
製造しましょう！！

新製品を製造・販売することはもちろん大切なことですが、長く使える製品を製造することで、ごみとなるものが減少します。

- 部品の規格を統一し、修理やリユース部品の使用を容易にしましょう。
- 修理しやすい構造の製品を製造しましょう。

消費者に商品を繰り返し使
用してもらいましょう！！

自社の製品を長く、大切に使ってもらうことで、ごみとなるものが減少します。

- 製品の修理に関するサービスを充実しましょう。
- 修理用部品を半永久的に供給しましょう。

自社の製品等をリユースし
ましょう！！

使えるものは、最後まで使い、ごみとなるものを減らしましょう。

- 自社製品を回収・修理し、リユース製品として販売しましょう。
- 製品の梱包材・容器等を回収し、再利用しましょう。

～製造業者の皆さんへのお願い～

使い捨て商品は、現在の大量消費社会の象徴であり、便利な反面、大量のごみを生み出す原因となっています。消費者の皆さんへの繰り返し使える商品や中古品の利用促進についての PR や事業活動にご協力をお願いします。

③ *Recycle　～再び資源として利用する～*

再資源化しやすい製品を製
造しましょう！！

製品の製造段階からリサイクルを促進させるための取り組みもまた、製造業の皆さんならでは可能となる取り組みです。

- 再資源化が容易な素材、構造で製品を製造しましょう。
- 自社製品の回収再資源化システムを構築しましょう。

消費者にリサイクルについ
て PR しましょう！！

消費者の皆さんにリサイクルの重要性を PR することで、自社製品の再資源化を促進することができます。

- 取扱説明書等に製品のリサイクルされる部位を明記しましょう。
- 製品にリサイクルの PR 文書等を付記しましょう。